

『未来共生学』投稿規定

1. 投稿資格

大阪大学未来戦略機構第五部門、未来共生イノベーター博士課程プログラム参画部局（下記参照）の教員と大学院生、その他編集委員会が適当と認めた方が投稿できます。

文学研究科（文化形態論専攻、文化表現論専攻）、人間科学研究科、法学研究科、経済学研究科、医学系研究科（保健学専攻、医学専攻）、工学研究科（地球総合工学専攻、ビジネスエンジニアリング専攻）、言語文化研究科、国際公共政策研究科、及び未来戦略機構第五部門、国際教育交流センター、CO デザインセンター、グローバルイニシアティブ・センター

2. 審査・校閲

論文・研究ノートについては、編集委員会が選出した複数の査読者による査読結果に基づき、編集委員会が掲載の可否を決定します。論文・研究ノート以外の原稿の校閲に関しては編集委員会が行い、その結果に基づき、改訂・修正の可能性があることをご了承ください。投稿された原稿の掲載の可否は、編集委員会が決定します。

3. 原稿形式

マイクロソフト・ワードで読み込み可能な形式で作成してください。写真・図表は、執筆者がパソコンで作成・編集したものを本文とは別のファイルで提出してください。

4. 原稿送付について

未来共生イノベーター博士課程プログラム事務局宛に、メールの添付ファイルで締め切りまでに送付してください。草稿ではなく完成稿をお送りくださるようお願いいたします。なお、文字化けする可能性のある特殊な文字、記号を使用する場合は印刷済み原稿 1 部とともに、原稿のデータファイルを記録した各種電子メディア（CDR 対応・Windows ならびに Macintosh 対応）を、事務局宛に郵送してください。一旦ご提出いただきました原稿は返却いたしません。

〒560-0043 大阪府豊中市待兼山町 1 番 2 号 文理融合型研究棟 6 階 共同研究室 I
未来共生イノベーター博士課程プログラム 『未来共生学』編集委員会 事務局
TEL : 06-6850-6653 (内線 6653) E-mail : imai-k@respect.osaka-u.ac.jp (担当 : 今井)

5. 原稿の区分と枚数

本誌には、広い意味での「共生」にかかわる「論文」「研究ノート」「フィールドワーク報告」「書評」「エッセイ」等の区分を設けます。また、原稿の区分ごとに、下記のとおり、文字数制限を設けます。いずれも本文、注、参考文献、図表を含めた枚数です。

論文 20,000～25,000 字程度

研究ノート	12,000 字程度
フィールドワーク報告	10,000 字程度
書評	2,000~3,000 字程度
エッセイ	2,000 字程度

6. 構成

論文：題名、要旨、キーワード、目次、本文、注、参考文献、英語題名、英語要旨、英語キーワード

研究ノート：題名、要旨、キーワード、目次、本文、注、参考文献、英語題名、英語要旨、英語キーワード

フィールドワーク報告：題名、キーワード、目次、本文、注、参考文献

書評：編・著者名、書名、副題、版数、出版地、出版社、刊行年、総頁数、定価

エッセイ：題名、本文

7. 要旨

論文と研究ノートについては要旨を提出してください。

日本語要旨：400～500 字程度とします。

英語要旨：300 words 程度とします。

8. 投稿者氏名・連絡先

原稿本体とは別（別紙・別ファイル）に、氏名（和文・英文）・連絡先（所属・住所・電話番号・電子メールアドレス）を明記してください。

大学院生による投稿の場合、必ず指導教員の承諾を受ける必要があります。指導教員の承諾署名欄を設けた提出書を準備していますので、事前に事務局まで問い合わせください。

9. 様式

- 1) 原稿は A4 判縦置き横書き、1 頁あたり全角で 40 字×40 行で作成してください。
- 2) 全角文字の大きさは 10.5 ポイントとし、数字は半角とします。余白を「上 30 ミリ、下 40 ミリ、左右 30 ミリ」取ってください。
- 3) 句読点は「、」「。」を使用してください。
- 4) 使用言語は日本語とします。題目・キーワードに英訳を付記してください。
- 5) 本文中の見出しは、章は 1、節は 1.1、1.1.1 の順にします。
- 6) 図表の題目は、図の場合は図の下に、表の場合は表の上につけてください。図表は、各々通し番号表 1、表 2、図 1、図 2 をつけてください。
- 7) 文献引用・参考文献などの形式は以下のとおりとします。

文献引用・参考文献の記載方法の例

<文献引用>

文献引用は、本文中に（著者名 刊行年：頁数）と表記するか、あるいは後注にて示すこととします（括弧は全角、スペースは半角）。

* 本文中に表記する場合の例

…である（栗本 2008: 65-66）。

栗本（2008: 65-66）は…と指摘している。

（Koizumi 2005; ヒベイロ 2007）

（栗本 2006; 2008） 同一著者による複数の論文・著者を参照する場合

* 後注で表記する場合の例

本文中で引用する文献について、書誌情報を後注で示す場合には下記例に倣って表記し、「前掲書」「op. cit.」の使用を避けてください。「同書」「同頁」「ibid」は、著者名を併記する等、指示文献が明確にわかるように表記してください。また、後注で示した場合でも、末尾に参照文献一覧を付してください。繰り返し同一論文を引用する場合、略称を使用することを認めます。

著者の場合 編著者『表題』（出版地ないし出版社）発行年、巻数、頁。

日本語著者の場合、「出版地」を省略してもよい。

論文の場合 著者「表題」『雑誌名』巻号（発行年）頁。

<参照文献>

参照文献は、使用言語ごとに区分して一覧表示してください。日本語文献の配列は、著者名（姓）の50音順とします。日本語以外の言語によって書かれた文献の配列は、著者名（姓）のアルファベット順とします。同一著者の文献が複数あれば刊行年順に列挙してください。

* 雑誌論文

栗本英世

2006 「戦後スーダンの政治的動態—包括的平和協定の調印から一年を経て」『海外事情』54(4): 77-92。

Koizumi, Junji

2005 Pluralizing Anthropology. *Anthropology News* 46(7): 9

* 論文集所収の論文

栗本英世

2008 「教育に託した開発・発展の夢——内戦、離散とスーダンのパリ人」石塚道子・

田沼幸子・富山一郎編『ポスト・ユートピアの人類学』pp.45-69、京都：人文書院。

ヒベイロ, グスタボ・リンス

- 2007 「複数のグローバル化——代替的な（ネイティブに代わる）トランスナショナルな過程と行為者たち」久保明教訳、小泉潤二・栗本英世編『第3巻 トランスナショナリティ研究』（「インターフェイスの人文学」研究報告書 2004-2006）pp.49-108、大阪：大阪大学21世紀COEプログラム「インターフェイスの人文学」。

Malkki, Liisa H.

- 2001 *Figures of the Future: Dystopia and Subjectivity in the Social Imagination of the Future*. In E. Kurimoto(ed.) *Rewriting Africa: Toward Renaissance*, pp.239-261. JCAS Symposium Series 14. Osaka: JCAS, National Museum of Ethnology.

* 単行本

栗本英世

- 1996 『民族紛争を生きる人びと——現代アフリカの国家とマイノリティ』京都：世界思想社。

James, Wendy, Donald L. Donham, Eisei Kurimoto and Alessandro Triulzi(eds.)

- 2002 *Remapping Ethiopia: Socialism and after*. Oxford: James Currey.

* 翻訳書

ギアツ, クリフォード

- 2002 『解釈人類学と反=反相対主義』小泉潤二編訳、東京：みすず書房。

* Web サイト

環境省編

- 2013 「環境白書・循環型社会白書／生物多様性白書 平成25年版」
<http://www.env.go.jp/policy/hakusyo/h25/index.html> (2013/10/17 アクセス)

United Nations

- 1977 U.N. Doc. S/PV. 2046, 4 November 1977
<http://www.un.org/en/documents/ods/> (2013/10/17 アクセス)

10. オンライン公開

本誌に掲載された原稿は、原則として「大阪大学機関リポジトリ OUKA」で公開するものとします（ただし、「書評」を除く）。OUKAに掲載することで著作権の移動は一切発生せず、附属図書館は著作権者から公衆送信権と複製権の許諾を得るだけであるため、著作権者からの指

示があれば即時無条件に OUKA から削除できます。

大阪大学機関リポジトリ OUKA (桜華) <http://ir.library.osaka-u.ac.jp/dspace/>

上記以外の場合は、各分野の標準的な記載方法に従うものとします。

2013年10月18日制定

2013年10月22日改定

2014年11月19日改訂

2015年5月26日改訂

2016年12月15日改訂